

2017

3月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



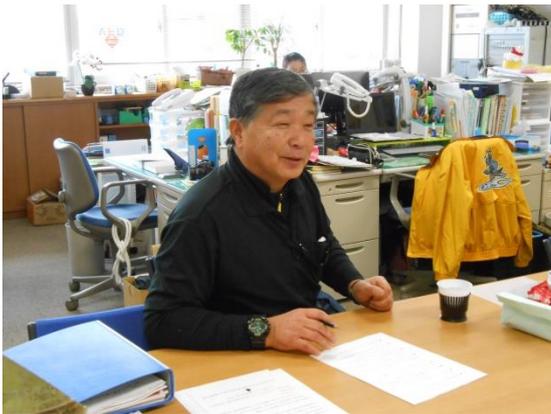
- | | | |
|---|---------|---------------------|
| 2 | 二言三言 | 川崎まちづくり協議会と地域支援のあり方 |
| 4 | 団体紹介 | 手まりの会 (大東) |
| 5 | 地域紹介 | 巖美 達古袋4区 (一関) |
| 6 | 企業紹介 | 千葉写真館 (花泉) |
| 7 | センターの○○ | センター独自調査！方言編① |

川崎まちづくり協議会と地域支援のあり方

対談者 川崎まちづくり協議会 議員／ファシリテーターもどき この かずのり 金野和則 さん
 聞き手 いちのせき市民活動センター センター長 小野寺浩樹

協議会から地域にファシリテーターを派遣

【小野寺】金野さんは川崎まちづくり協議会（以下「まち協」）の会員として、依頼があった川崎町内の自治会に出向き、自治会カルテの作成に係る話し合いのお手伝いをしてきましたが、活動を始めたきっかけはどんなことでしたか？



川崎まちづくり協議会 議員／
 ファシリテーターもどき
 金野和則さん

【金野】最初、川崎の自治会連絡協議会から「26の自治会で“自治会カルテ”をつくることになった」と連絡を受けたんです。自治会内の現状と課題を皆で共有し、自治会長が変わっても引き継げるようにということですね。それを聞いた私は、「自治会だけで作るのは大変だろうな。自分たちに何かできないかな」と思い、まち協の会員4人が“ファシリテーターもどき”として自治会に入ってみることにしたんです。

【小野寺】実際に依頼があったのは、12の自治会でしたね。4人で回るのは大変だったかと思います。

【金野】大変でしたが、自治会に入ることによって地域の方の生の声をたくさん聞けましたし、前にいちのせき市民活動センターさんのファシリテーション講座を受けていましたからね。

【小野寺】12もの自治会から依頼をもらえたのは、口コミの効果でしょうか？

【金野】自治会長さんたちは自治会カルテを見て「これをどうやってまとめようか」と不安に思ったんじゃない

ないでしょうか。回答は記述式ですし、頼れるところがあるならという気持ちで依頼をくれたんじゃないかと思います。

【小野寺】実際に話し合い支援に入ってみての感想はいかがですか？

【金野】一番よかったと思うのは、情報共有ができたことですね。話し合いの中で、雑談に近いローカルな会話もありますが、そういう小さな話題が重要な情報だったりするんですよ。

【小野寺】そういう会話は、まち協から派遣された第三者的なポジションの人が入ることで、遠慮なく話せたというところもあるんでしょうね。

【金野】それは絶対あると思います。自治会の方々だけじゃ、話しにくいことってありますからね。話し合いの中で、私から他の自治会の取り組みを紹介した時もありました。「所萱自治会では、月1回定例会を開いていて、皆が集まっているんですよ」なんて話題提供すると、「へ～！そんなことやっている自治会があるんだ。すごいね！」って驚かれますよ。

私と一緒にファシリテーターをした花ちゃんの自治会は世帯数も人口も少ないけど、運動会ではたくさんの方が参加して優勝しちゃうんだよね。「どうやって人を呼んでるの？」と聞くと「食べ物です」って。1,000円～1,500円のお弁当を出して、それで人が集まるみたい。



石畑自治会での話し合いの様子
 ファシリテーターが話し合い支援をしています

【小野寺】ヒントは身近なところにあるんですね。ある意味、ファシリテーターとして各自治会に行きながら、他花受粉をしているんですね。「ヨソではこうらしいよ」って。

【金野】区長会の場では「皆さんどうしてるの？」って聞きづらいでしょうね。自治会同士で情報が共有されず、意外と知られていないことも多いですよ。

【小野寺】話し合いで他の自治会の情報を出してあげるだけでも、地域の方にとっては大きいですよ。

【金野】ワークショップでは、自分が言った意見が文字になって記録されると安心感もありますよね。

【小野寺】最初に支援に入った砂子田自治会の自治会長さんが、まち協の皆さんの前で「ファシリテーターを派遣してもらってよかった」と言ってくれましたよね。その言葉を聞いた時に「川崎のこの機能はすごいな」と思ったし、まち協と自治会を繋ぐ本当によい仕組みだと思いました。

【金野】あの一言は私たちも本当に嬉しかったですね。

地域の認知度が高い！川崎まちづくり協議会

【金野】自治会を回っていて、「まち協って何？」という質問が一回も出なかったのは意外でしたね。

【小野寺】川崎の中では、まち協の存在が浸透しているんですね。

【金野】まち協を地域に広めたのは、平成26年度から実施している門崎小学校の朝仕事じゃないでしょうか。今までに5回実施して、門崎の方も薄衣の方も参加してくれましたよね。

【小野寺】あれは仕掛けがよかったですね。門崎小学校の「登校日」にして、コッペパンを配ってラジオ体操をしたりしましたよね。

【金野】キャッチコピーを考えるだけでも時間をかけたよね。スポ少の子どもたちも親も来てくれたのですごく助かりました。



「草、ぼうぼう 今日門小 朝仕事」で配布したコッペパン
(川崎まちづくり協議会のFacebookより転載)

【金野】話し合いの後、私たちでできることはすぐ動きました。例えば、「通学路に看板が一つもない」という話が出た時は、うちの事務所に来た交通安全協会薄衣分会の方が「余っている看板があるから対応するよ」とすぐに看板を設置してくれて、それを見た方は「あれ、この前話した看板がもう設置されてる」って気づいて、「まち協ってすごい！」「交通安全協会薄衣分会ってすごい！」って思ってくれたかなと思います。あとは国道沿いに立っていた「スリップ注意」の看板が邪魔だという意見が出れば、すぐに支所が動いてくれて県の担当課の方が2~3日で移動してくれました。



【小野寺】それはすごいですね。ほかに僕がいいなと思ったのは、12の自治会の話し合いで見えた共通課題を、まち協の全体会の場にフィードバックするという仕組みです。その共通課題は川崎のまちづくりビジョンに反映したし、課題改善に取り組まなければならない項目が見えてきましたから。

【金野】その仕組みは私たちもいいなと思っています。話し合いの後、私たちは話し合いで使った模造紙を持ち帰って内容を整理してから自治会に返し、自治会で作ったカルテは自治会連絡協議会を通じてまち協に提供していただきました。このように、動きや情報を協議会の中で共有する仕組みができていくことが大事だと思います。自治会カルテづくりの支援で始めたファシリテーター派遣ですが、これからも地域から要請があれば支援ができるよう、まち協としてファシリテーターを増やしていきたいですね。

基本情報

【川崎まちづくり協議会（川崎市民センター）】

住所：〒029-0602

一関市川崎町薄衣字諏訪前7-1

電話：0191-43-3112 FAX：0191-43-3273

団体紹介



手まりの会役員のみなさま

～基本情報～

- ◆代表：佐藤 律子 さん
- ◆連絡先：〒029-0522
一関市大東町曾慶字神蔭 32-1
- ◆電話：0191-75-2244
- ※連絡先・電話ともに
活動拠点の曾慶市民センター

みんなの得意分野を活かし、地域を盛り上げる

「やってみっぺし！」女性陣が立ち上がる

一関市大東町曾慶地区は約 1240 人が暮らす中山間地域。「曾慶を盛り上げるために何かしたい」という思いから立ち上がった女性グループ“手まりの会”は、自分たちができる範囲で地域を盛り上げるための取り組みとして「そげいのひなまつり」を開催しています。

手まりの会は、平成 26 年 12 月に曾慶地区の女性有志 10 名で立ち上げ、本格的な組織づくりは平成 27 年に入ってから。現在は、平均 60 歳代の女性 24 名が会員になっています。農閑期の手仕事(手芸や人形制作)の展示と地域住民の交流を目的とした「そげいのひなまつり」は今年で 3 回目の開催を迎えます。

「発足当初は、どのくらいの方が賛同し会員になってくれるか不安があった」と振り返るのは、手まりの会代表の佐藤律子さんです。もともと同地区には、食生活改善推進協議会大東支部曾慶地区、JA 女性部、曾慶婦人会の 3 つの女性団体があり、団体ごとに活動を行っていました。「地域協働体“結いネット そげい”が立ち上がり、地域の課題や現状を話し合っているうちに、各女性団体の加入を問わず、団体の垣根を越え曾慶地区の女性なら誰でも気軽に参加でき、地域の活性化に結びつくようなことができればと考えるようになった」と発足の背景を振り返ります。

機運高まる身近な事例と自主イベントの開催

「やってみっぺし！」と、立ち上げたもののどのようこの思いを現実的な形にしていこうかと模索していた最中、発足と同時期に地区内 3 つの女性グループと曾慶公民館(現曾慶市民センター)共催で、地域づくり講演会を開催しました。講演会の講師として同市千厩町のひなまつり実行委員会委員長の昆野洋子さんを招き「地元女性が主体となった地域の風物詩・せんまやひなまつり」の事例を聞くことで刺激を受け「さらに機運が高まった」と語る佐藤さん。

平成 27 年からは、自主イベントの開催を目指し、手芸教室を開き会員や部落ごとで着物や帯、古布などの生地や色合いを活かして仕上げたつし雛や手まり、干支の羊のぬいぐるみなどを制作。同年 3 月 3 日、4 日と第 1 回目の「そげいのひなまつり」を開催することとなりました。「初めてのことで不安もありましたが、会場のレイアウトに困るくらい会員や地域の皆さんから作品を提供していただき、当日もたくさんの方々にご来場いただき、本当に嬉しかった」とほほ笑む佐藤さんです。

交流の輪を広げ、地域に活気を

今年の「そげいのひなまつり」の開催は 2 月 25 日(土)、26 日(日)。「今まで平日開催だったのですが、お勤めをされている方や子どもたちも来場しやすいのでは?という思いから、今年は土日の開催にしました。沿岸や遠方からも見に来てくださる方もおり、私たちの励みにもなります」と語り、「活動の柱の一つに“ひなまつり”の開催がありますが、今後は地域の保育園やデイサービスセンターでも作品展示を行うなど交流の輪を広げ、一人暮らしを含めた高齢者とつながりを持ち、冬場の楽しみとして一緒に手仕事ができるようになればと考えています。できることを少しずつね」と続けます。

今年は、結いネット そげいの特産品開発チームとコラボしてそば殻まくらを販売※するとのこと。

取材当日は、会員らが枕カバーを製作中で、純曾慶地区産のそば殻を詰める作業を行っていました。



※そば殻枕は限定 20 個の販売です。

今年の干支“にわとり”のぬいぐるみが可愛らしいです。

地域紹介



区長 三浦善昭さん

～基本情報～

- ◆区長：三浦善昭さん（1期2年目）
- ◆達古袋4区は12戸47人が暮らす中山間地域です。江戸時代後期に起きた天保の大飢饉で、食料を求め住民の約半数が秋田県に移住したという歴史があります。

支え合いが自然にできる安心・豊かな暮らし

互いに顔がわかる安心な暮らし

一関市博物館から国道342号線を西に3.2km進み、「樹木葬」の看板が立つ十字路を南下した先にある長倉集落（達古袋4区）。東西に細長い地形をしており、山林に囲まれ、主要道路を沿うように流れる久保川は地域の自然や田畑を潤しています。

平成27年度に区長に就任した三浦善昭さんは、若い頃から農業一筋で、県から「青年農業士」の認定を受けるなど地域農業の振興を担い技術向上や高い農業経営を目指す取り組みを行ってきました。「長倉集落では中山間事業が盛ん。農家の中には、稲作を休み牧草をつくっている転作農家も多い」と三浦さんは話します。地域の高齢化は進んでいるものの、農作業で体が鍛えられ丈夫な方が多く、行っている支援は見守り程度だといいます。人口は巖美21行政区の中で最も少ないですが、人口が少ないためお互いの顔がわかりまとまりがあるのが強み。「一声かければ皆が相談にのってくれる」と笑みをこぼします。

いざという時に頼れる「近助」の力

長倉集落は豪雪地域で、市街地の2～3倍の積雪があります。季節になると集落内の道路を除雪車が通りますが、土側溝への脱輪を避けるために除雪し残した雪を、地元有志で組織したスノーバスターズがトラクターで除雪する取り組みを4年間継続。農村地域での主な交通手段は車なので、道路に関する問題は住民の関心度が高く「いざという時は皆で力を出し合い団結する」と力強い言葉をいただきました。15年前から道路の拡張工事を始め、今では緊急車両や市営バスが余裕で通れるまでになっています。このほか、過去に起

きたボヤ騒ぎでは消防車が到着する前に住民がポンプで初期消火を行ったり、冬は「屋根からの落雪を年配の方だけで片づけるのは大変」と周辺の方たちが積極的に手伝うなど、日頃から「近助」が当たり前に行っている様子を伺いました。

里山を交流の場所に

三浦さん宅の向かい側には「ながくら『美しい里山』」という山林に囲まれた広場があります。そこは昔、三浦さんの祖父が観光栗園にしようと9町歩の面積に栗の木を植えた場所であり、周辺では椎茸などのキノコ、木の実や山菜といった山の幸が豊富にあります。その場所を活用し、地域の方に自然と触れ合う楽しさを体験してもらおうと15年ほど前から「ながくら里山まつり（ながくら地区里山づくり協議会主催）」を毎年秋に開催。三浦さんのお父様が同協議会の代表を務め、山仕事をしている方々を中心に組織し、間伐体験や薪割り、竹細工、自然散策、鉄製の炭窯で行う竹炭づくりなど、里山の多面的機能を活かしたイベントを企画。

当日は地区内外の子どもや若者30名ほどが参加し、山に明るい声が響きます。三浦さんは「里山の山頂から見える須川は、イベントに参加した方しか見られない絶景。集落に人が集まり、里山が人の交流に役立っているのは嬉しい」と語っていただきました。

ながくら里山まつりの会場には、手作りの小屋や炭窯があり子どもたちが元気に駆け回ります。



企業紹介



店主の千葉拓也さん

～基本情報～

- ◆店 主：千葉 拓也さん
- ◆連絡先：〒029-3205
一関市花泉町涌津字下原 28-1
- ◆電話：0191-82-3725
- ◆店舗HP：<http://www.chiba-studio.com>

記録以上に大切な「何か」を残すお手伝い

地域の写真館、ここにあり

一関市花泉町にある千葉写真館はスタジオ専門で一人一人の思いに沿った記念撮影を行っています。創業は昭和13年。当時は新しい職業の一つであった写真館を現店主千葉拓也さんの祖父が立ち上げました。

「昔は気軽に写真を撮れるような時代ではなく、結婚式など家族や親戚が集まったの記念撮影は、カメラマンが直接出向き撮影していました。栗原市若柳出身の祖父は地元の写真館で働き花泉町まで冠婚葬祭時の写真を撮影しに来ていたそうです。そのご縁から町内で開業しました」と語る千葉さん。カメラマンである祖父や父の背中を見て育ち、東京での修業を終え家業を継ぐため平成5年にUターン。平成18年から現住所に移転し夫婦で地域の写真館を運営しています。

“なんかおもしろい写真屋さん”を目指す

「昭和40年代、二代目である父の時は全盛期だった」と語る千葉さん。当時はカメラが普及しはじめ、撮影だけでなくカメラの販売も行っていたのだとか。現在は記念写真撮影の需要も年々減り「デジタルカメラやスマートフォンの普及でカメラ店の廃業も多くなってきた」と現状を語ります。「同業者などで後継者育成のための活動も行っていますが、後継者は少ない」と続けます。「ただの“記録”を残すだけなら手軽に保存ができるデジタルなものでいいと思います。しかし、私たちが撮影時に意識していることは、その人それぞれのストーリーにスポットをあて『短編映画のような価値ある写真』を“記憶”として残すこと。何年、何十年と時を経て見返しても、その時の記憶で当時を振り返ることができるようなそんな写真をお届けしたい」と語り、その熱い思いがこちら側にも伝わります。

写真館で撮影してもらうといえはやはり子どもを中心とした誕生、七五三、入学・卒業、成人式、結婚式などイベントごとの家族写真。なんとなく、きっちり

とした格好でつくり笑顔で…という雰囲気がありますが、千葉さんは「気軽に普段着でいいんです。写真を撮るときは楽しくおしゃべりをしながら自然な表情で。できあがった写真を見て楽しんでもらい、何年か後に見返して楽しむ。記憶に残る写真は3度の楽しみがあるんですよ！特に家族写真はお子さんの反抗期には絶大な効果がありますよ！」と、その魅力をユーモアたっぷりに語ります。

「海外のテレビ番組や映画の中で、家族の写真がリビングに飾られているのを見たことがあるでしょ。あの飾られた写真、実はただのインテリアではなく、『家族の絆を深める』という意味合いがあって、家族が幸せに暮らしていくための一つのツールとして家族写真を上手く利用しているんです。すごく素敵なことですよね」とニコリ。なるほど！と納得しました。

情報発信の必要性と地域のニーズ

祖父や父の代から家族ぐるみでお付き合いをしているお客様も多い同写真館は、地域や時代のニーズに合わせた独自の取り組みも行っています。ご高齢の方の撮影時には希望があれば送迎を、千葉写真館をもっとよく知ってもらうためのチラシには撮影に込める思いを、ホームページには日常のささやかな出来事を綴り温かな情報を発信しています。

また、現在は地域の市民センターからの依頼で、デジタルカメラや一眼レフカメラでの撮影のコツを指導する講師として地域に貢献しています。

最後に「試行錯誤中ではありますが、地域の方々のご家族の幸せとそのニーズにお応えできるような写真館であり続けたい」と力強く語っていただきました。



日差しが降り注ぐスタジオ。まるでカフェのような落ち着きがあります。

センターの 〇〇！

「きゃあどさではっと
おっかねえごどあつとおもって
よっぽどきいつけなはりやせ」

とある記念品でいただいた湯飲み茶碗
に書かれていた方言の標語。
みなさんどんな意味かわかりますか？



さっそく答えです。上記の標語は「道路(街道)に出ると 危ないことがあると思って よほど(かなり)気を付けてくださいね」という意味です。寒い時期、雪が降り道路がツルツルに凍っていると運転が怖いですよ！本当に標語の通りです。ところで“道路がツルツル”といえば、1月のある日「今日、すごい“たっぺ”だったね」という私の言葉に、スタッフ全員が“たっぺ”って何？と言うのです。「常用しているのは我が家だけ!?」と急に不安が。**そこで!**「同じ一関市内でも地域によって方言の違いがあるのか!?’を検証すべく、例によって100人以上の地域の方にヒアリングを行うことに。調査では右上のイラストのような画像をお見せし(口頭での説明は「路面がツルツルに凍っている状態」程度)、「それを方言で何と呼ぶか？」を尋ねました。

調査結果ダイジェスト

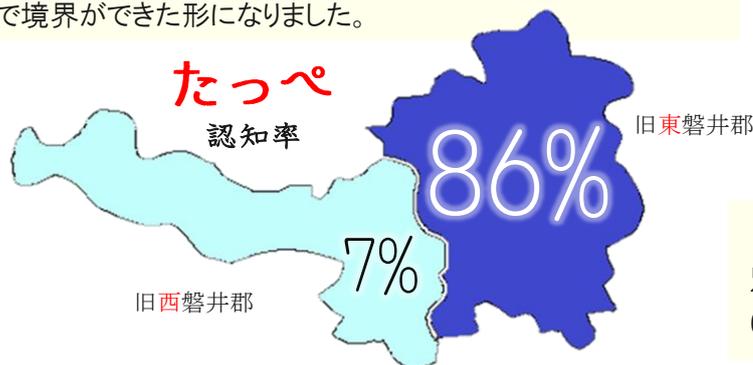
【結果①】 ダントツに多いのはやはり… たっぺ

今回の調査※の内、「路面がツルツルに凍っている状態」についての回答割合は、「たっぺ」が55%とダントツ。以下「わからない」「特にない」が25%、「テカテカ」「ツルツル」などの表現が12%、「アイスバーン」が4%、「その他の表現(すが・はしる・すみでる など)」が4%の順となりました。方言として浸透しているものは「たっぺ」のみのおようです。

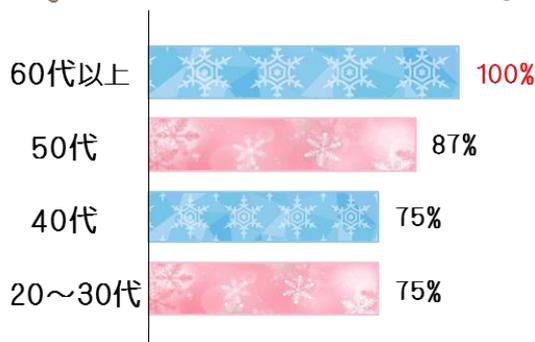
【結果②】 「たっぺ」の認知境界線が判明!?

地図と年代に見る境界線

たっぺ認知率(たっぺと回答した人の割合)は旧東磐井郡で86%(84人中72人)に対し、旧西磐井郡では7%(55人中4人)と大きな差が。少なくとも「たっぺ」については東西で境界ができた形になりました。



旧東磐井郡 年代別認知率



さらに、旧東磐井郡でたっぺと回答した人の割合を年代別に見ると、年齢が高いほど認知度が高い傾向が見られ、60代以上のたっぺ認知率は100%という結果でした。

その他、「花泉地域では田んぼや水たまりに氷がはることを“たっぺ”と表現する」というご意見や、「稲刈り後の“ほんによ掛け”と“はせ掛け”の境界線と同じなのでは」との興味深い情報もありましたが、残念ながら今回は検証しきれませんでした。

方言について書かれた本によれば、明治の初め頃までは、役人、医者、和尚などの特別な人を除いた一般の人たちは、読み書きを習う機会がなく、日常の暮らしの中から生まれた言葉が、伝承により次世代へ引き継がれてきたそうです。

この言葉こそが“方言”であり、話しことばですから、文章として書き表すのは非常に難しいもの。後世にも方言を残すには、文字としての記録とともに、実際に使うことで伝承していくことが大切なのかもしれません。

(参考:菅原幹郎(2011)『千厩地方の方言となまり～方言は地域住民の温かい道具～』)

※この結果はあくまでも当センターの独自調査によるものです。イラストはヒアリングの際お見せした画像を基にスタッフが作成しました。

※実際の調査では冒頭の標語を含め、4項目の質問をしています。詳しい結果は別途HPに掲載しますのでぜひご覧ください。

おしらせ

一関

まちの保健室

岩手県看護協会では、血圧やBMI測定、体や心に関する悩みを無料でお聞きするまちの保健室を毎月開催しています。保健師、助産師、看護師OBのスタッフが優しくお応えしますので、お気軽にご利用ください。

【日時】平成29年3月4日(土)13時30分~15時
【場所】いちのせき市民活動センター内
【料金】無料
【問合せ】0191-26-6400
(いちのせき市民活動センター)

一関

加藤鉄平作品展 For(big)kids

千厩町のアーティスト、加藤鉄平さんの作品展を行います。過去には千厩の商店街・施設のほか、草地や蔵、納屋などを会場に独創的で生命力満ちる作品の数々を展示してきました。線と色彩が織り成す空間と思考の世界をご体感ください。

【期間】平成29年3月7日(火)
~平成29年3月31日(金)
【場所】さくらなみき自閉症美術館
【料金】入館料無料
【問合せ】0191-48-3622(場所と同じ)

一関

まちエネ大学

地域資源を活かした地域課題の解決につながる再エネ事業化を支援する人材育成プログラムです。最終回の第5回目は、講座でグループごとに練り上げてきた地域資源や地域課題を取り込んだ再エネ事業プランを成果として発表します。

【日時】平成29年3月7日(火)18時~21時
【場所】なのはなプラザ3階 大会議室
【受講料】無料 ※テキスト代のみ3,000円
【問合せ】090-6222-8634
(一関市民パワー発電所事業化検討地域協議会/菅原)

花泉

はずみの里 森林学習会事業 キノコの植菌体験

ムキタケやナメコの種コマを木に植えながら、菌と森林、人との関わりを学ぼう！先生は阿部慶元さん(はずみの里副理事長/調査部部長)です。対象は小学生以上の方先着15名で、3月9日(木)までに下記問い合わせ先まで申し込みください。

【日時】平成29年3月11日(土)
9時30分~12時
【場所】はずみの里(老松小学校向かい)
【参加料】無料
【問合せ】0191-82-3857(場所と同じ)

千厩

千厩地域市民劇場 第14回どっから座公演

物語:「花つ娘達の修養道場 ばあひところ」
あらすじ:今から1200年ほど前、千厩の山寺付近に教養豊かなおば様が知識や技術を伝授する花嫁修業場「姥懐(ばあひところ)」がありました。ある日村に役人がやってきて、村長とおば様は流罪を告げられてしまいます。二人を守った村人たちの行動と教えとは…。

【日時】平成29年3月12日(日)①11時~②14時~
【場所】千厩農村環境改善センター
【入場料】1,000円(中学生以下無料)
【問合せ】0191-52-2168(菅原)

千厩

ホワイトデー スウィーツマルシェ

スウィーツのお店12店舗がまちの駅に大集合！正午からはつじやまがくさん、ドリームキッズさんによるライブも行います。ステージで男性から女性に日頃の感謝を伝える「コミット」への出場者も募集中です。特別企画チョコファウンテンもお楽しみに。

【日時】平成29年3月12日(日)
10時~14時
【場所】まちの駅「新町じゃじゃ馬プラザ」
【料金】入場無料
【問合せ】0191-53-2900(新町あおぞら市)

花泉

彦坂木版工房 木版画ワークショップ

パン、ケーキ、コロッケの木版画の刷りの工程を体験するワークショップです。彦坂木版工房さんによる著作絵本の読み聞かせもあります。対象は3歳以上の方(10歳未満は大人同伴)で、定員は各回20名(2月19日から受付開始/先着順)です。参加申込は花泉図書館まで。

【日時】平成29年3月19日(日)
①10時30分~12時 ②14時~15時30分
【場所】花泉図書館
【参加料】無料
【問合せ】0191-82-4939(場所と同じ)

一関

鈴木秀和 リサイタル vol.2 音楽の宴

一関市出身のテノール歌手、鈴木秀和さんのリサイタルを行います。内澤路子さん(ピアノ)、田島葉月さん(ソプラノ)をゲストに迎え、ロッシーニの「饗宴」、ヴェルディの「乾杯の歌」ほか20曲ほど演奏します。

【日時】平成29年3月25日(土)
14時30分開場 15時開演
【場所】一関文化センター中ホール
【チケット】一般2,000円(前売)※当日は300円増
中・高生1,000円(前売・当日) 小学生無料
【チケット取扱】カミヤ、一関文化センター

一関

「姿勢講演会」の 開催先を募集しています

姿勢の歪みは腰痛肩こりなどの不調を招くばかりか、ストレスや集中力が欠けるなど精神の不調、自立神経の不調の原因にもなりかねません。正しい姿勢を身につけて健康を手に入れるため、「姿勢講演会」を開きませんか？お気軽にご相談ください。

【講演担当者】健康科学博士、姿勢科学士など
【講演料】随時相談(啓蒙活動促進のため、基本的には依頼元の規定・要望に準拠)
【問合せ】0191-48-3710
(KCSセンター一関)

今月の表紙



いよいよ受験シーズン本番。今回は学問の神様菅原道真公を祀り、合格祈願に来る方も多いという舞川の菅原神社で撮った1枚です。受験生と家族には期待と不安の日々が続きますが、桜の季節にどうかご利益がありますように…

Q & A あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q クラウドファンディングって何ですか？

A クラウドは「民衆」、ファンディングは「資金調達」という意味で、インターネットを通じて不特定多数の人から出資や協力を募ることです。事業立案者たちがインターネット上で行いたい事業を紹介し、支援者は応援したい事業に対し、寄付や出資などの支援を行うことができます。クラウドファンディングは大きく分けて寄付型、報酬型、金融型の3つあり、報酬型の場合は、支援者は支援金額に応じた金銭以外の商品やサービスを受けることができます。

